

株主のみなさまへ

ISK REPORT

独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。

証券コード 4028



第102期 事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

中期経営計画「Vision 2030 StageⅡ」の進捗

Topics

- ・「第4回日経統合報告書アワード」にて優秀賞を受賞
- ・会社案内をリニューアルしました

ISK 石原産業株式会社

Top Message トップメッセージ

「Vision 2030」目標実現への道程を確かなものに

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

代表取締役社長の久保浩でございます。みなさまへご挨拶を申し上げます。

当社は、「化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける」というパーパスのもと、長期ビジョン「Vision 2030」の実現を目指し、2024年度より中期経営計画「StageⅡ」に取り組んでおります。初年度は、順調な滑り出しとなりました。事業部別の収益管理を一層強化するとともに、資本コストを意識した経営を推進し、次期中計「StageⅢ」を見据えながら、中長期的な成長に向けた基盤を固めます。

有機化学事業では、製造プロセスの見直しによるコスト削減の実現に向け、「ひょうご小野研究センター」の建設を進めており、予定どおり本年12月の稼働を目指しています。犬腺炎急性期用抗炎症剤「パノクエル[®]」も米国市場で販売が順調に拡大しており、さらなる拡販に向けた体制強化を図っています。

無機化学事業では、成長分野である電子部品材料への積極的な投資として、チタン酸バリウムの需要拡大に対応するべく、MFマテリアル株式会社の延岡第二期工場の建設を進めており、2027年の稼働を目指しています。

株主還元方針につきましては、DOE（連結株主資本配当率）を指標に導入し、中計「StageⅡ」期間中（2024～2026年度）は、DOE3%を下限として配当を実施いたします。また、2025年度から中間配当を予定しています。

社員一人ひとりの挑戦が企業の成長に不可欠です。働きがいのある職場づくりと企業文化の醸成を進め、持続的成長を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 久保 浩



Financial Highlights 連結財務ハイライト

有機化学事業

- 農業は米州における在庫調整の影響で北米での除草剤の販売が減少するも、欧州での殺菌剤およびアジアでの除草剤の販売が増加
- 動物用医薬品や医薬品原薬などのヘルスケア事業は減収
- 主力農業が堅調に推移し、増収増益

無機化学事業

- 電子部品材料、導電性材料ともに海外販売を中心に堅調に推移し増収
- ファインケミカル（酸化チタン）は建築用途向けを中心に国内需要が低迷するも、アジア向けの拡販により増収
- アジア市場へ安価な中国品が流入し市況が悪化したことに加えて、生産調整による固定費負担増の影響で減益

全社

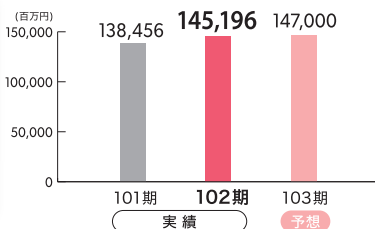
- 為替が想定よりも円安に推移したことなどから、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は増益

売上高の推移

1,451億円

前期比

67億円増 ↗

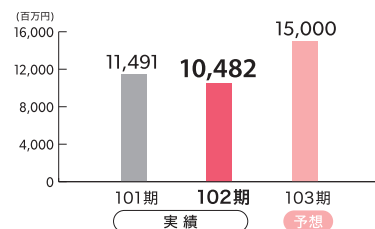


営業利益の推移

104億円

前期比

10億円減 ↘

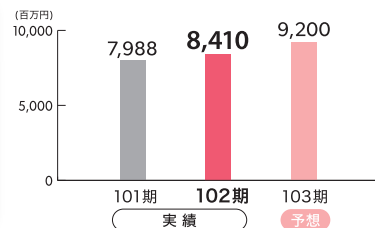


親会社株主に帰属する当期純利益の推移

84億円

前期比

4億円増 ↗

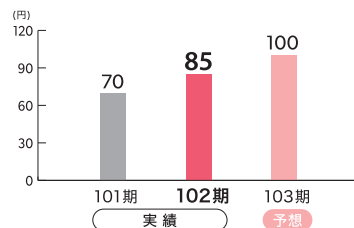


1株当たり年間配当金の推移

85円

前期比

15円増 ↗



株主総会動画はこちら

石原産業 株主総会 検索



決算説明会資料はこちら

石原産業 IR説明会資料 検索



中期経営計画「Vision 2030 StageⅡ」の進捗

当社グループは、長期ビジョンとして「Vision 2030 独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。」を掲げ、2024年度よりスタートいたしました中期経営計画「Vision 2030 StageⅡ」に基づき、持続的な成長と企業価値の向上を目指して各種施策を推進しております。こちらでは「StageⅡ」の進捗状況と計画達成に向けた今後の見通しについてご報告します。

WEB

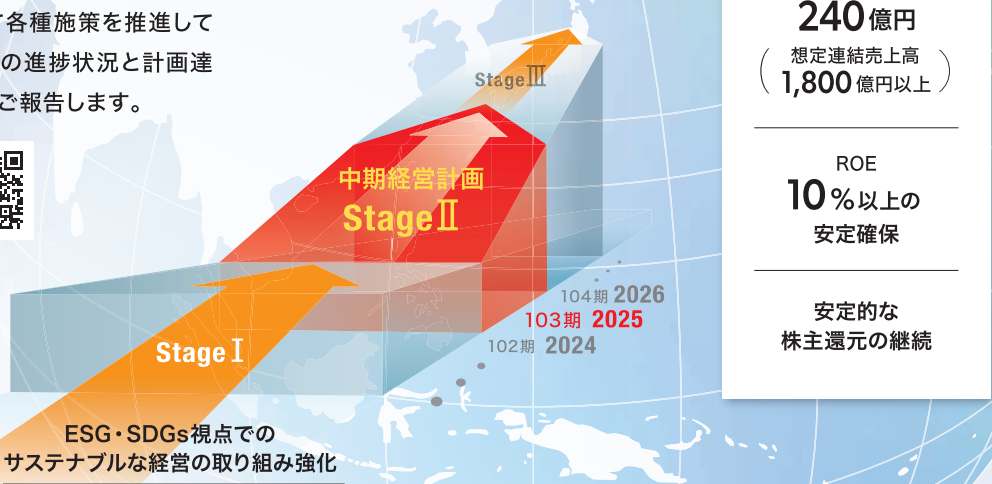
中期経営計画はこちら

石原産業 中期経営計画 検索



独創・加速・グローバル。
化学の力で暮らしを変える。

Vision 2030



「Vision 2030」経営目標

連結営業利益
240億円
（想定連結売上高
1,800億円以上）

ROE
10%以上の
安定確保

安定的な
株主還元継続

StageⅡ 目標 2027年3月期

連結営業利益
190億円以上
（想定連結売上高
1,600億円以上）

ROE
10%以上

2026年度に向けて
連結配当性向目標
40%

項目	102期	103期	104期
売上高	1,451	1,470	1,607
営業利益	104	150	198
経常利益	113	127	193
純利益	84	92	136

（億円）

102期 実績 103期 予想 104期 StageⅡ計画

指標	102期	103期	104期
営業利益率	7.2%	10.2%	12.3%
ROE	7.6%	7.9%	11.2%

● 売上高 ● 営業利益 ● 経常利益 ● 純利益

各事業の見通し

有機化学事業

103期 売上高
726億円（予想）

103期 営業利益
118億円（予想）

項目	102期	103期	104期
売上高	677	726	765
営業利益	104	118	142

（億円）

102期 実績 103期 予想 104期 StageⅡ計画

世界の人々の食、健康、生命への貢献

■ バイオサイエンス

- 欧州では中期計画に対して殺菌剤、殺虫剤の販売が好調
- 成長戦略剤は中期計画に対して除草剤チアフェナシルが減収となる一方、除草剤トルピラレートは米州で、殺虫剤シクラニプロールはアジアで増収
- 犬尿炎症急性期用抗炎症剤「パノクエル®」の販売が国内外で伸長

農薬 剤別販売計画

農薬 地域別販売計画

項目	102期	103期	104期
売上高	660	694	714
営業利益	160	159	152

（億円）

102期 実績 103期 予想 104期 StageⅡ計画

（注）成長戦略剤とは「殺虫剤シクラニプロール」「除草剤トルピラレート」「除草剤チアフェナシル」などを指す

無機化学事業

103期 売上高
710億円（予想）

103期 営業利益
30億円（予想）

項目	102期	103期	104期
売上高	732	710	814
営業利益	5	30	55

（億円）

102期 実績 103期 予想 104期 StageⅡ計画

新たな価値創造で環境と情報化社会の進展に貢献

■ 電子材料・機能性色材、ファインケミカル

- 中期計画の想定には届かないものの前年度と比べて大幅に収益が改善
- 電子部品材料は国内外ともに堅調
- ファインケミカル(酸化チタン)は製品在庫適正化が進み収益性を重視した販売にシフトすることや、原燃料価格の下落などで減収となるものの収益は改善

電子材料・機能性色材 材料別販売計画

ファインケミカル(酸化チタン) 地域別販売計画

項目	102期	103期	104期
売上高	151	174	192
営業利益	25	35	34

（億円）

102期 実績 103期 予想 104期 StageⅡ計画

項目	102期	103期	104期
売上高	581	536	622
営業利益	245	186	249

（億円）

102期 実績 103期 予想 104期 StageⅡ計画

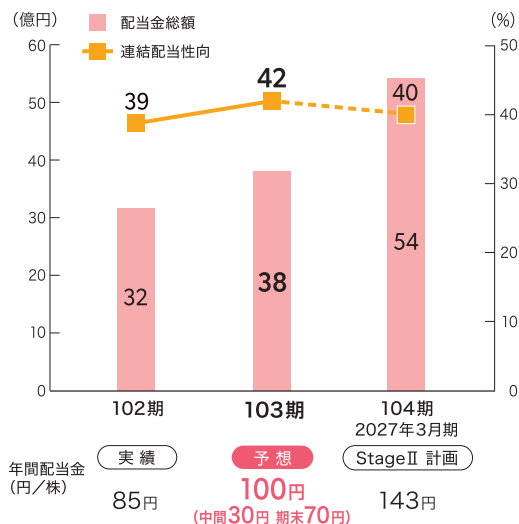
株主還元

当期(102期)の期末配当金

1株当たり **85円**

※次期は中間配当を計画

- ・企業価値を高めるとともに、株主のみならずまへ利益を還元していくことを経営の最重要政策の一つと位置付けています。
- ・配当は、業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案して業績に応じた安定的な配当の継続を基本に考えています。
- ・機動的に自己株式取得も行います。
- ・中期経営計画「Vision 2030 StageII」では、最終年度(2026年度)に向けて連結配当性向40%を目標とします。
- ・中期経営計画「Vision 2030 StageII」(2024～2026年度)の期間中は、DOE(連結株主資本配当率)3%を下限として配当を実施します。



Topics トピックス

「第4回日経統合報告書アワード」にて優秀賞を受賞

当社は、日本経済新聞社主催の「第4回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞しました。当社の統合報告書は、中期経営計画「Vision 2030 StageII」の達成に向けた各事業の取り組みを数値やデータを用いて具体的に示すとともに、環境・社会・ガバナンスなどの非財務情報もわかりやすく紹介しています。

今後も、ステークホルダーのみならずまとの建設的なコミュニケーションを通じて、当社グループへのご理解を深めていただけるよう、統合報告書をはじめとする情報開示のさらなる充実に努めるとともに、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。



WEB 統合報告書はこちら

石原産業 統合報告書

検索



会社案内をリニューアルしました

このたび、会社案内パンフレットおよびムービーをリニューアルしました。新しいパンフレットでは3つの強みを軸に、当社の取り組みや事業内容をより分かりやすく紹介しています。また、ムービーでは多くの社員が登場しており、当社ならではの活気ある雰囲気をもっと身近に感じていただける内容になっています。本年12月に稼働予定の「ひょうご小野研究センター(愛称「TREC」)」についても紹介しています。詳細は当社ホームページにてご覧ください。

WEB 会社案内はこちら

石原産業 企業情報

検索



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
定時株主総会 基準日	毎年6月 定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	(当ホームページアドレス) 株主名簿管理人 特別口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先)	https://www.iskweb.co.jp 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
単元株式数	100株		

I 単元未満株式を保有されている株主さまへ

当社の株式は1単元が100株となっています。株主さまがご所有の単元未満株式(100株未満)につきましては、市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。単元未満株式をお持ちの場合は、買増制度、買取制度をぜひご利用ください。

買増制度 単元株式(100株)となるよう、不足する株数の株式を当社より購入することができます。

買取制度 当社に対して単元未満株式(100株未満)を売却することができます。

I 特別口座で株式を保有されている株主さまへ

特別口座に記録されている株式は、市場での売買ができないなどの制約があります。市場での売買を行うには、特別口座から証券会社の口座に株式を振り替えていただく必要があります。

I 支払期間経過後の配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなります。お早目にお手続きください。

配当金を『配当金領収証』で
受領されている株主さまへ

～配当金は口座振込でもお受け取りいただけます～

配当金の受取方法を口座振込に変更されますと、配当金のお支払開始日に株主さまご指定の口座に振り込まれ、安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。この機会に口座振込でのお受け取りをご検討ください。

各種お手続きについて

住所変更、単元未満株式の買増・買取、配当金受取方法の指定など

証券会社をご利用の株主さま
お取引先の証券会社にお問い合わせください。

証券会社をご利用でない株主さま
特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。
0120-782-031 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	石原産業株式会社
英文商号	ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.
本社	〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号 TEL：06-6444-1451(総務部)
創業	1920年9月10日
設立	1949年6月1日
資本金	43,420,548,178円
従業員数	(連結)1,807名(単体)1,139名
事業所	本社・中央研究所・四日市工場・東京支店・中部支店・札幌営業所・福岡営業所・アルゼンチン支店

役員の状況 (2025年6月26日現在)

代表取締役社長	大久保 浩
代表取締役	堀江 幹也
取締役	西山 良夫
取締役	新名 芳行
取締役	田中 賢二
取締役	山下 育生
取締役(社外)	安藤 知史
取締役(社外)	内田 明美
取締役(社外)	佐野 由美
常勤監査役	小林 洋一
常勤監査役	坂井 宏次
常勤監査役(社外)	楠見 憲久
監査役(社外)	小池 康弘

定時株主総会の決議ご通知について

株主総会における決議結果につきまして、書面による送付を取り止め、当社ホームページでの掲載のみとさせていただきます。



第102回定時株主総会決議
ご通知はこちら

石原産業 株主総会 検索

